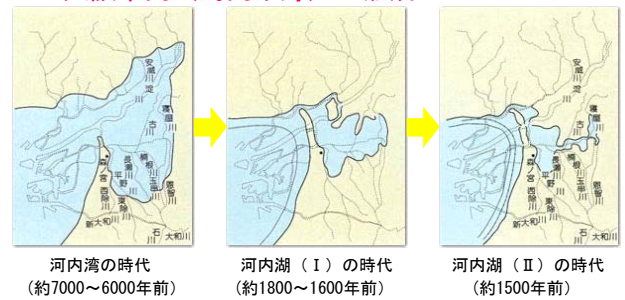


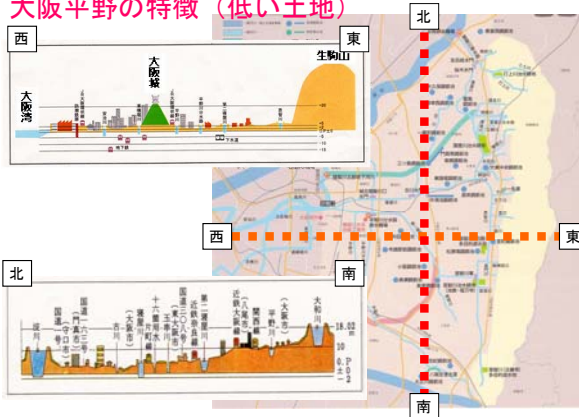


大阪市内（河内平野）の形成



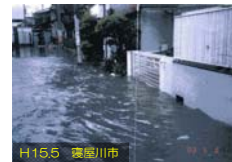
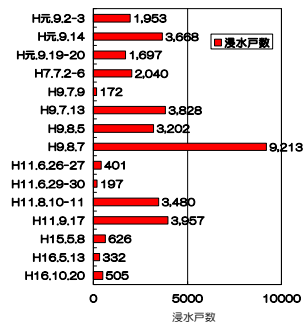
現在の地形となったのは、江戸時代のはじめ頃といわれています。

大阪平野の特徴（低い土地）



この間の水害の発生状況

- ◆ 昭和以前は、大規模な洪水で被災家屋が数万件に達した
- ◆ 平成以降、河川改修が進んだが依然浸水被害が発生している



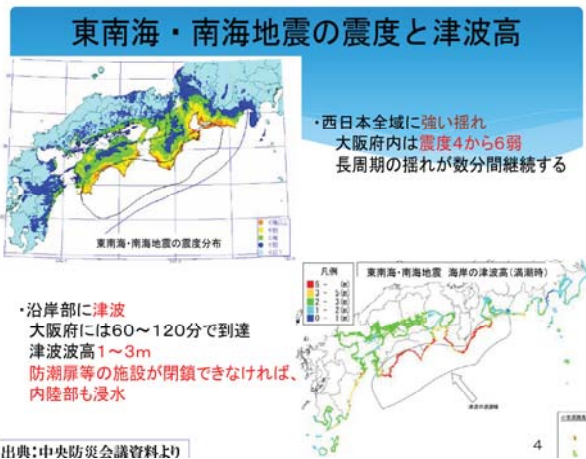
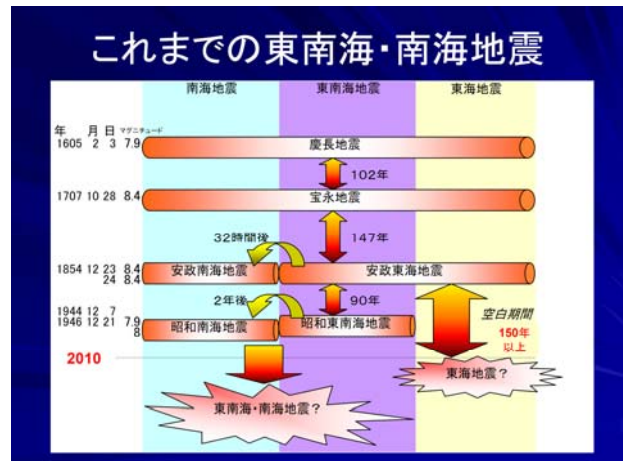
枚方市豪雨  
2012年8月



広島市北部集中豪雨・土砂災害  
2014年8月



福知山市集中豪雨・浸水被害  
2014年8月



耐震補強を行わないと?

堤防・防潮堤が地震によって崩壊すると、浸水によって大きな被害が発生します。

(兵庫東南部地震による被害)



整備箇所選定の考え方

地震により防潮施設の機能が損なわれ、津波や日々の干満で浸水被害が発生するおそれがある箇所について、今後10年間で耐震補強を実施します  
引き続き、地震により防潮施設の機能が損なわれ、高潮時に浸水被害が発生するおそれがある箇所について、対策を検討します

大阪府地域防災計画の修正

「南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会報告」(被害想定等)を前提 2014年3月31日

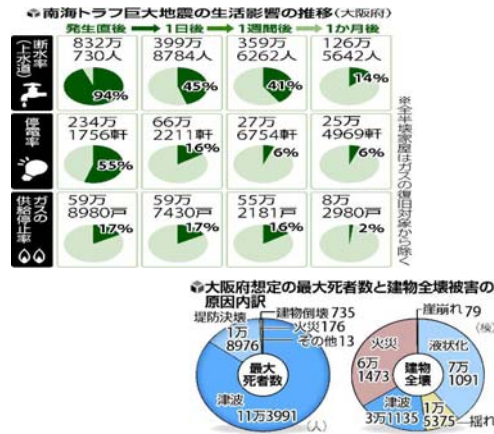
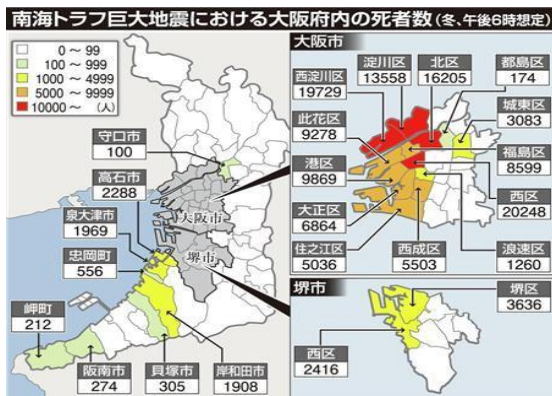
地震の規模等の条件

Mw9.0(震度・液状化) Mw9.1(津波)

○震度 6強~5弱

○液状化 大阪湾岸部をはじめ、広い範囲で液状化の可能性が高くなる

○津波 浸水面積11,072ha (最大津波水位 TP+5.1m)



### 津波遡上による被害想定

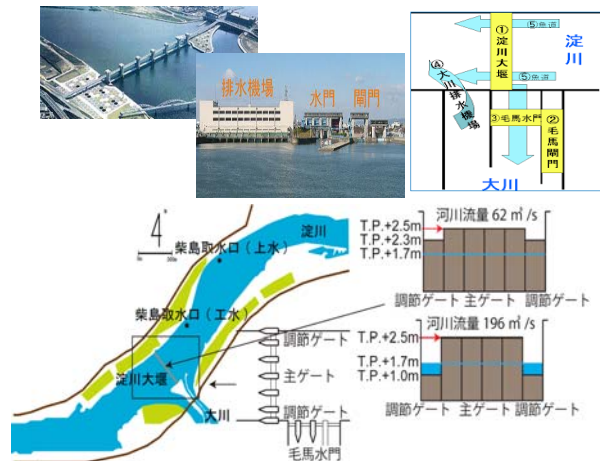
日本の大都市は沿岸部に多く、津波の被害を受けやすい。津波は沿岸部に被害を与えるだけでなく、河川を遡上することがある

### 東南海・南海地震時の遡上想定

津波は地震発生約2時間後に大阪湾に到達し、河口から上流の淀川大堰を越流する可能性がある。

### 河口堰上流部の浄水場取水口への影響

津波の遡上に伴う塩水が、淀川大堰上流部に流入し、浄水場の取水口に到達することで浄水場の水処理に影響を与える可能性がある。



## 「地域防災計画の修正」

### 基本理念

『減災』(被害の最小化及びその迅速な回復を図る)

### 基本方針

I 命を守る II 命をつなぐ III 必要不可欠な行政機能の維持 IV 経済活動の機能維持 V 迅速な復旧・復興

### 進め方

- ・各主体の役割の明確化
- ・PDCAサイクルによる災害対策の不断の改善

### 住民と自治体が考える防災対策とは…

1. 津波被害を想定し正しい情報と迅速な避難ルートの確保
2. 国と府、市町村と自治体職員の役割が発揮できる十分な体制と予算を
3. 被害を最小限にするため！人命優先災害に強いまちづくりを
4. 国と地方自治体が責任をもって石油コンビナートの防災対策を
5. 防潮堤防の耐震化整備と老朽化対策、生活密着型のインフラ整備を